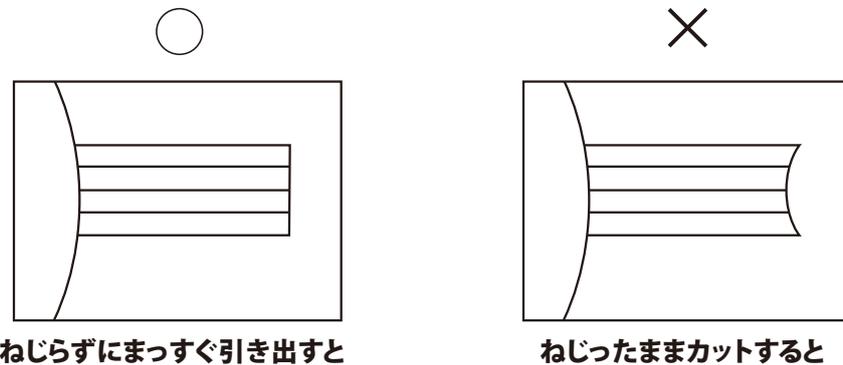


美容技術の基礎を学ぶには

「パネルをねじらないこと」と「3×4の法則」

を理解することが必要です。

カットする際にパネルをねじらないことは非常に重要です。それはパネルがねじれている状態でカットすると、完成したスタイルがイメージと違うものになってしまうからです。



パネルがねじれてしまう原因として、以下の3点が考えられます。

- ① 髪の毛 (ウィッグやお客様) との距離が近い
- ② パネルを持っている側の肘が大きく開く。
- ③ 重心移動や足の運びができない。

しっかりできているようで、実はできていない人が多いのが現実です。

「3×4の法則」を成立させるためには、まず身体の使い方を理解することが大切です。

カットの基礎となる部分ですので、次のことをしっかり覚えてください。

- ① 作業する箇所との距離感
- ② 身体の重心で動く(移動)
- ③ 足を動かす(前・後ろ・横へ)
- ④ 毛束を持つ側の肘は、身体の前で締める

カットの秘訣は、体の重心で動いたり、足を動かしたり、毛束を持つ側の肘を締めたりするだけです。

まずはこの動きができるように頑張ってください。

ポリカを使うことで、ねじれるとペーパーの部分のねじれがよく分かるので、まっすぐに引き出す練習が簡単にできます。

次に大切なのが3×4の法則です。これを成立させるには、パネルに「ねじれ」や「たるみ」がないことが絶対条件。正確なフォームを作るためにこの「ねじれ」や「たるみ」に注意しましょう。

スライスの角度

- ① たて
- ② 斜め
- ③ よこ

●スライスとは、カラーやカットする為にパネルを薄く分けとること。この角度の違いがヘアスタイルのシルエットにも影響してきます。ここで覚えておきたいのが、スライスが縦に近づくほど、段が多くなるということです。

引き出す方向

- ① プッシュ
- ② オンベース
- ③ プル

●毛束を引き出す方向とシルエットに深い関係があります。

引き出す位置

- ① アップポジション
- ② センターポジション
- ③ アンダーポジション

●毛束を引き出す位置の変化により、できあがるシルエットにも違いが出てきます。グラデーション、セイルレイヤー、レイヤーの違いを思い出してみましょう。

切る角度

- ① グラデーション
- ② セイルレイヤー
- ③ レイヤー

基本の切り口での落ちた毛束のシルエットはどうなっているでしょうか。実際に自分の切ったスタイルで確認することが大切です。これら4種類の組み合わせを理解することで、あらゆるヘアデザインに対応することができます。一見難しそうな3×4の法則ですが、この4つのことを頭にいれて実践してみましょう。

美容の基礎技術をよりわかりやすく学んでいただくために、美容の基礎知識が学べるブログ「ぽりかねっと。」や動画でカット技術が学べるYoutube「ポリカチャンネル」をぜひ活用ください。何かわからないことがあればぜひお気軽にお問合せください。



ブログ



Youtube